

トヨタ紡織、メッセナゴヤ2010に出展

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：豊田周平）は、10月27日（水）から30日（土）にポートメッセなごや（名古屋港金城ふ頭）で開催される「メッセナゴヤ2010」に出展します。

今回の開催テーマは、「環境・エネルギー」。トヨタ紡織は、これまで「環境にやさしいクルマづくり」へ寄与するために製品化に取り組んできた「軽量化・省エネ技術」や「バイオ技術」といった環境技術を中心に紹介します。

1. 主な展示品の紹介

【軽量化・省エネ技術】

軽量化・省資源化を図りつつ、乗り心地性能を追求した

新世代シート骨格 TB - NF110 (パワー)

ネット素材の開発により、「軽さ」「薄さ」と「快適性」を備えた スリムスタイルシート

樹脂化により軽量化した

水平対向4気筒エンジン用 樹脂インテークマニホールドと、OCV¹搭載 樹脂シリンダーヘッドカバー

省資源化・環境保護を目的に、構造を変更した エLEMENT交換型オイルフィルター

2層メルトブロー工法により生産性を向上した 2層メルトブローエアコン用フィルター

【バイオ技術】

ケナフ基材の耐熱性を向上した ケナフ・ポリ乳酸ドアトリム基材

原料の一部に「ひまし油」を使用した バイオウレタンシートパッド

ケナフ繊維を高い割合でPPに配合した ケナフ射出成形部品

植物由来素材を採用した エコプラスチック²製表皮材

2. 出展場所

第1展示館 Fゾーン 1F - 12



1: オイルコントロールバルブ
2: トヨタ自動車㈱が開発した、一般的なバイオプラスチックに比べ耐熱性、耐衝撃性などを向上させた植物由来成分を含むプラスチックの総称